

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

大東商事株式会社は、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDGsの趣旨に賛同し、社員一丸となって自社で設定した8ゴールズの達成に向けて取り組むとともに、リサイクルを通じ「次世代に豊かな未来を残す」ために、サーキュラーエコノミーの実現を目指します。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	木質チップをバイオマス発電設備の燃料として提供	出荷量 2023年23,800t →2026年30,900t
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	中途採用の促進	採用の人数 2023年17人→2026年26人
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	エコキャップ寄付活動協働	協業社数 2023年96社→2026年120社

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

熊本県の資源循環や脱炭素のパートナー企業として信頼関係を構築しつつ、社会益(公益)寄与の為に熊本県内の団体や企業と共にエコキャップ寄付活動に協働している。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	干潟再生プロジェクトを推進し、海の豊かさを守る。	ヘドロの量を減らし、アサリや二枚貝類の生物を増加させる。
	取り組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	ヘドロを分解し、かつ生き物のエサに変える資材を投入することで減少及び生物増加が確認出来た。	2023年10%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	木質チップを発電設備の燃料として提供し、従来の重油や石炭燃料に比べて温室効果ガスの削減を目指す。(住み続けられるまちづくりを)	温室効果ガス年15%相当分削減
	取り組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	新たに木材加工業者2社との取引を開始し、指標を達成する為の取り扱い数量を達成出来た	2023年100%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	雇用・昇進・登用など差別しない体制運営を目指すとともに、年齢を問わない中途採用を実施する。	中途採用者の採用を今後も計画的におこなう。
	取り組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	① 社員紹介による採用の促進を行い、6名紹介による採用を行った。 ② 派遣社員の直接雇用を積極的に取り組み、5名登用した。	2023年100%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取り組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取り組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取り組みの進捗状況」には、取り組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。